

B5サイズで
作成しています

令和7年度大学入学共通テスト 試作問題『歴史総合，世界史探究』

〔 100 点 〕

- 試験時間 60分
- 出題範囲 「歴史総合」と「世界史探究」を総合した範囲から出題

「地理歴史」「公民」は以下の出題科目6科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。

『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』
『公共，倫理』，『公共，政治・経済』，『地理総合，歴史総合，公共』

2科目を選択解答する受験者が『歴史総合，世界史探究』を選択する場合，もう一方の科目として以下を選択することはできない。

- × 『地理総合，歴史総合，公共』の「地理総合」及び「歴史総合」の組合せ
- × 『地理総合，歴史総合，公共』の「歴史総合」及び「公共」の組合せ

○ 作成の趣旨及び留意点

本試作問題は，令和7年度大学入学共通テストから新たに出题科目として設定する『歴史総合，世界史探究』について具体的なイメージの共有のために作成・公表するものです。

本試作問題は専門家により作成されたものですが，過去の大学入試センター試験や大学入学共通テストと同様の問題作成や点検のプロセスを経たものではありません。

なお，令和7年度大学入学共通テストの出题内容については，本試作問題の作成を踏まえつつ，引き続き検討することとしています。

※ 本試作問題に関する説明は，「試作問題「地理歴史」の概要」を御覧ください。

歴史総合，世界史探究

(解答番号 ~)

第1問 歴史総合の授業で、世界の諸地域における人々の接触と他者認識について、資料を基に追究した。次の文章A～Cを読み、後の問い(問1～8)に答えよ。(資料には、省略したり、改めたりしたところがある。)(配点 25)

A 19世紀のアジア諸国と欧米諸国との接触について、生徒と先生が話をしている。

先生：19世紀はアジア諸国と欧米諸国との接触が進んだ時期であり、アジア諸国の人々と欧米諸国の人々との間で、相互に反発が生じることがありました。例えば日本の開港場の一つであった横浜の近郊では、薩摩藩の行列と馬に乗ったイギリス人の一行との間に、図に描かれているような出来事が発生しています。それでは、この出来事に関連する他の資料を図書館で探してみましよう。

(この後、図書館に移動して調査する。)

高橋：横浜の外国人居留地で発行されていた英字新聞の中に、この出来事を受けて書かれた論説記事を見つけました。

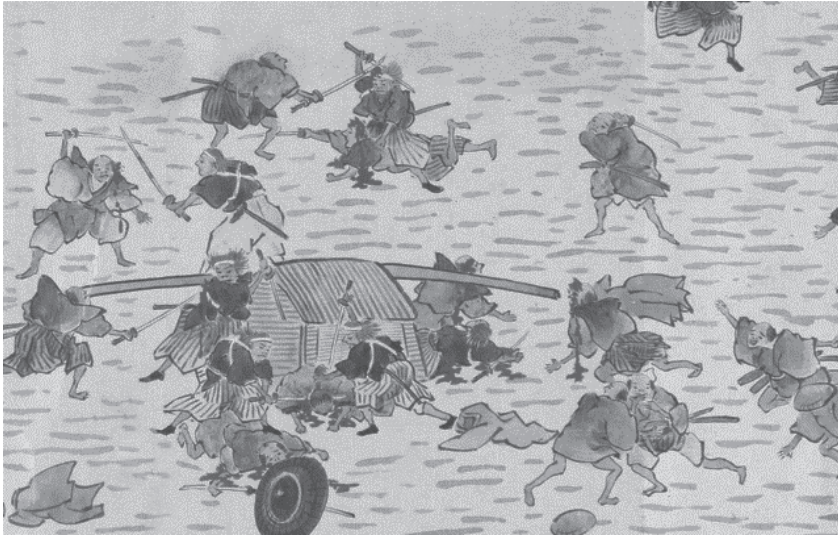
(ここで、高橋が①英字新聞の論説記事を提示する。)

中村：この記事は、現地の慣習や法律に従わなかったイギリス人の行動を正当化しているように見えます。また、この出来事が、イギリス側でも、日本に対する反発を生んだのだと分かります。

先生：そのとおりですね。一方で、アジア諸国が欧米諸国の技術を受容した側面も大事です。②19世紀のアジア諸国では、日本と同じく欧米の技術を導入して近代化政策を進める国が現れました。

問1 文章中の図として適当なものあ・いと、後の年表中のa～cの時期のうち、図に描かれている出来事が起こった時期との組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 1

図として適当なもの
あ



い



日本の対外関係に関する年表

1825年	異国船を撃退するよう命じる法令が出された。
	<input type="text" value="a"/>
	上記法令を撤回し、異国船への燃料や食料の支給を認めた。
	<input type="text" value="b"/>
	イギリス艦隊が鹿児島湾に来て、薩摩藩と交戦した。
	<input type="text" value="c"/>
1871年	清との間に対等な条約が締結された。

- ① あ — a ② あ — b ③ あ — c
④ い — a ⑤ い — b ⑥ い — c

問2 下線部④に示された記事の内容を会話文から推測する場合、記事の内容として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① イギリス人は、日本の慣習に従って身分の高い武士に対しては平伏すべきである。
② イギリス人は、日本においてもイギリスの法により保護されるべきである。
③ イギリス人は、日本の許可なく居留地の外に出るべきではない。
④ イギリス人は、日本が独自に関税率を決定することを認めるべきではない。

問3 下線部⑥について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ある国では、計画経済の建て直しと情報公開を基軸として、自由化と民主化を目指す改革が進められた。
② ある国では、「四つの現代化」を目標に掲げ、市場経済を導入した改革・開放政策が行われた。
③ ある国では、儒教に基づく伝統的な制度を維持しつつ、西洋式の兵器工場や造船所を整備する改革が進められた。
④ ある国では、労働者に団結権が認められるとともに、失業者対策と地域開発を兼ねて、ダム建設などの大規模な公共事業が行われた。

B 戦争の際のナショナリズムや他者のイメージについて、絵を見ながら生徒と先生が話をしている。

先生：以前の授業では、一つの国民あるいは民族から成る国家を建設する動きをナショナリズムという用語で説明しました。それは異なる言葉や生活様式を持つ人々を均質な国民として統合しようとする動きと言えますね。

まさき：島国として地理的なまとまりが強い日本には、わざわざナショナリズムによって国民を統合するような動きは見られないですね。

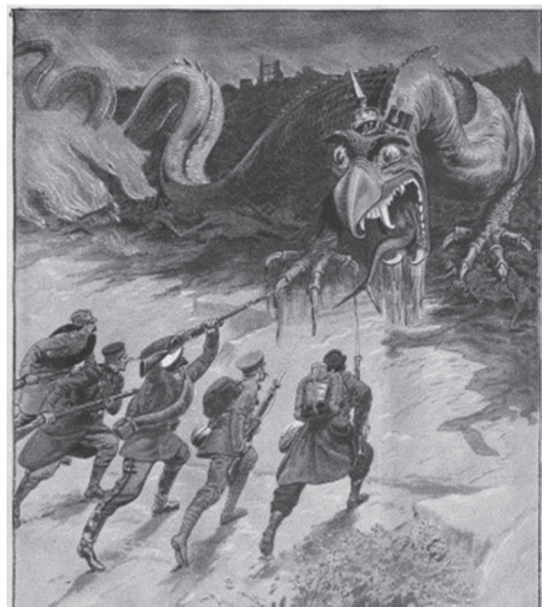
ゆうこ：そんなことはないでしょう。日本は、昔も今も一つの民族による国家だと思える人はいるかもしれませんが、そうではなく、異なった言語や文化を持った人々によって構成されていたのです。近代において、そういった人々を、ナショナリズムによって統合していった歴史があったはずですよ。

まさき：その際、抑圧の側面も存在したと考えてよいのでしょうか。

先生：そのとおりです。

さて今回は、20世紀の戦争に目を向けてみましょう。

そこでは、敵対する他者が戯画化されて、表現されることがよくあります。次の絵を見てください。これは第一次世界大戦が始まった際に、フランスのある新聞に掲載された絵です。解説には、フランスを含む5つの国の「文明戦士がドイツとオーストリアというモン



スターに立ち向かう」と書かれています。5つの国には、フランスのほかに **ア** などが当てはまると考えられますね。どちらも、三国協商を構成した国です。

ゆうこ：交戦相手を怪物として描いてその恐ろしさを強調することで、敵に対する国民の憎悪をかきたてて団結させようとしているのですね。

まさき：このように敵対意識を表現することや、他の国と比べて自国を良いものだと考えることで自国への愛着を促すこと、これらもナショナリズムと言えるのでしょうか。

先生：そのとおりです。ほかにも、植民地支配からの独立を目指す動きもナショナリズムに基づいていると言えます。

ゆうこ：◎ナショナリズムには多様な現れ方があるのですね。

問4 文章中の空欄 **ア** について、(1) 及び (2) の問いに答えよ。

(1) 文章中の空欄 **ア** に入る国の名として正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。なお、正しいものは複数あるが、解答は一つでよい。 **4**

- | | |
|-----------|-------------|
| ① アメリカ合衆国 | ② イギリス |
| ③ イタリア | ④ チェコスロヴァキア |
| ⑤ 日本 | ⑥ ロシア |

(2) (1) で選んだ国について述べた文として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 **5**

- ① 血の日曜日事件が起こった。
- ② サルデーニャ王国を中心として統一された。
- ③ 奴隷解放宣言が出された。
- ④ ズデーテン地方を割譲した。
- ⑤ チャーティスト運動が起こった。
- ⑥ 中国に対して、二十一か条の要求を行った。

問 5 下線部㉔に関連して、ナショナリズムの現れ方として考えられることあ・いと、その事例として最も適当な歴史的出来事X～Zとの組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 6

ナショナリズムの現れ方として考えられること

あ 国内で支配的位置にある多数派の民族が、少数派の民族を同化しようとする
こと。

い 外国による植民地支配から脱して、自治や独立を勝ち取ろうとすること。

歴史的出来事

X ロシアとの戦争が迫る情勢の中で、幸徳秋水が非戦論を唱えた。

Y 明治期の日本政府が、北海道旧土人保護法を制定した。

Z ガンディーの指導で、非暴力・不服従運動が行われた。

① あ — X い — Y

② あ — X い — Z

③ あ — Y い — X

④ あ — Y い — Z

⑤ あ — Z い — X

⑥ あ — Z い — Y

- C 1970年に開催された日本万国博覧会（大阪万博）について、生徒たちが、万博に関わる当時の新聞記事（社説）を探して、記事から抜き書きを作成した。

社説の抜き書き

- ・万博に参加した77か国のうち、初参加のアジア・アフリカなどの発展途上国が25か国に上っていた。
 - ・アジア・アフリカなどの発展途上国のパビリオン（展示館）では、一次産品の農産物・地下資源や民芸品・貝殻などが展示されていた。
 - ・こうした発展途上国のパビリオンからは、GNP（国民総生産：国の経済規模を表す指標の一つ）は低くとも、自然と人間が関わり合う生活の中に、工業文明の尺度では測れない固有の文化の価値体系を知り得た。
 - ・高度工業文明とGNP至上主義の中で、「物心両面の公害」に苦しめられている今日の日本人にとって、発展途上国のパビリオンから知り得た文化と風土の多様性こそ、人間の尊厳と、人間を囲む自然の回復を考える手掛かりである。
- （『読売新聞』1970年9月13日朝刊（社説）より作成）

- 問6 センリさんのグループは、社説が発展途上国のパビリオンの特徴に注目しながら、同時代の日本の状況を顧みていることに気付いた。その上で、当時の世界情勢で社説が触れていないことについても、議論してみようと考えた。社説が踏まえている当時の日本の状況について述べた文あ・いと、当時の世界情勢で社説が触れていないことについて述べた文X・Yとの組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

社説が踏まえている当時の日本の状況

あ 第1次石油危機（オイル＝ショック）により，激しいインフレが起こっていた。

い 環境汚染による健康被害が問題となり，その対策のための基本的な法律が作られた。

当時の世界情勢で社説が触れていないこと

X アジアでは，開発独裁の下で工業化を進めていた国や地域があった。

Y アラブ諸国では，インターネットを通じた民主化運動が広がり，独裁政権が倒された国があった。

- ① あ — X
- ② あ — Y
- ③ い — X
- ④ い — Y

問 7 センリさんのグループでは，発展途上国が万博に積極的に参加した背景について調べ，メモにまとめた。メモ中の空欄 **イ** ・ **ウ** に入る語句の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 **8**

メモ

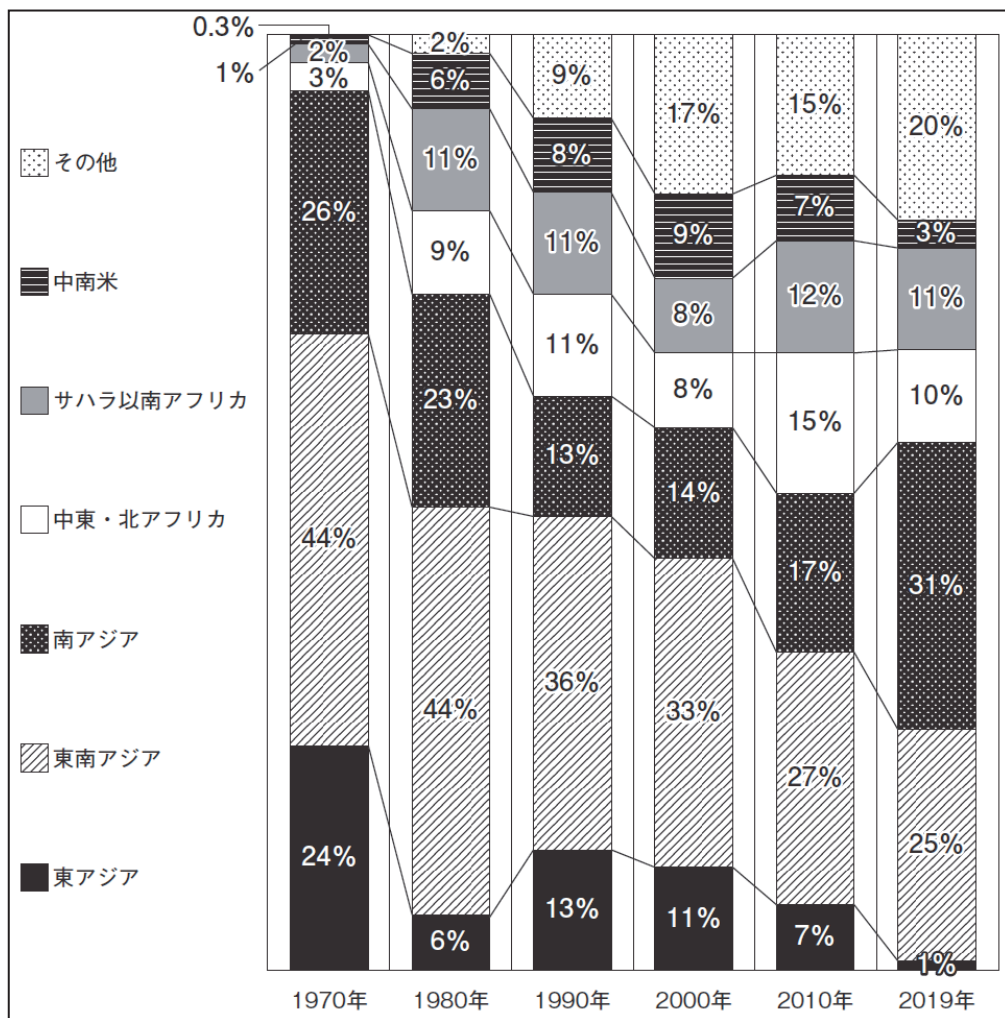
1960年に **イ** で17か国が独立を果たすなど，1960年代には独立国の誕生が相次いだ。新たに独立した国々の中には **ウ** する国もあるなど，発展途上国は国際社会において存在感を高めていた。

- ① イ — アフリカ ウ — 非同盟諸国首脳会議に参加
- ② イ — アフリカ ウ — 国際連盟に加盟
- ③ イ — 東南アジア ウ — 非同盟諸国首脳会議に参加
- ④ イ — 東南アジア ウ — 国際連盟に加盟

問 8 ユメさんのグループは、万博後の発展途上国と日本の関係について、政府開発援助（ODA）から考えることとし、日本の ODA の地域別配分割合の推移を示すグラフを作成し、そこから考えたことをメモにまとめた。3 人のメモの正誤について述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

9

グラフ 日本の 2 国間 ODA の地域別配分割合の推移



(外務省国際協力局「2020年版開発協力参考資料集」より作成)

(注) 四捨五入のため、合計は必ずしも100%にならない。

ユメさんのメモ

1970年に東アジアの割合が24%に達していたのは、中華人民共和国への援助が開始されていたためである。

テルさんのメモ

2010年までは、どの年についても、東南アジアの割合が最も大きかった。東南アジアの中には、日本が賠償を行った国々が含まれていた。

アインさんのメモ

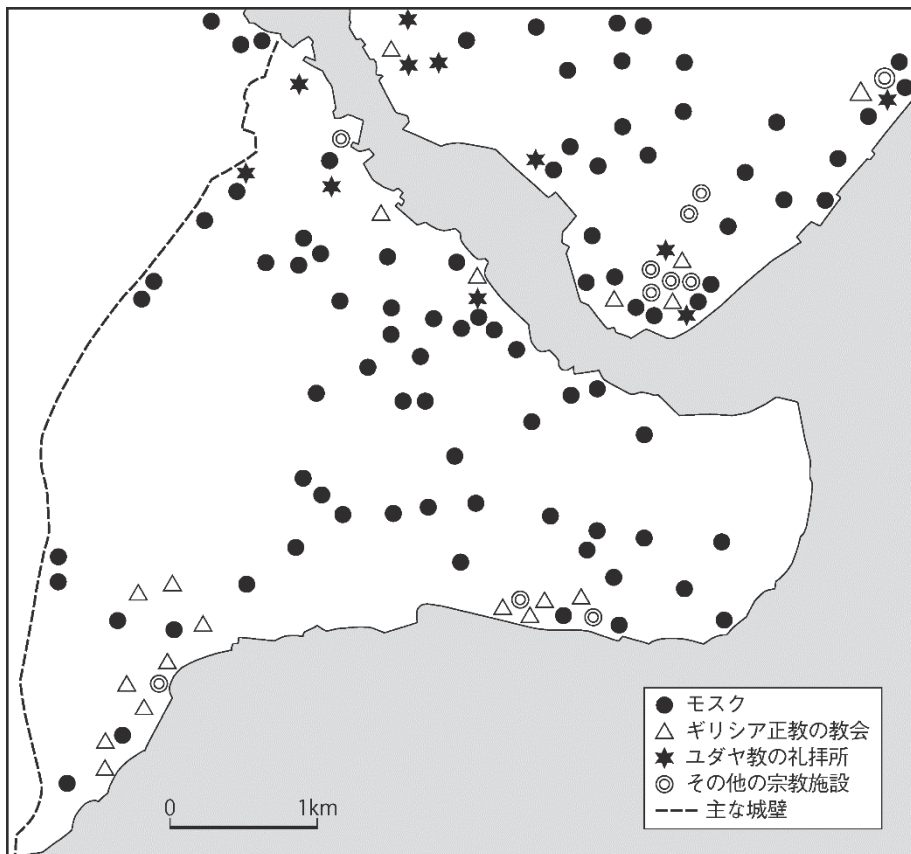
1970年から2019年にかけて、南アジアの割合は一貫して減少し、日本の援助先としての重要性が、他地域と比べて低下している。

- ① ユメさんのメモのみが正しい。
- ② テルさんのメモのみが正しい。
- ③ アインさんのメモのみが正しい。
- ④ 全員のメモが正しい。

第2問 世界史探究の授業で、世界史上の都市を取り上げて班別学習を行い、各班で興味を持った都市について、資料を基に探究した。それぞれの班の発表に関連した後の問い（問1～4）に答えよ。（資料には、省略したり、改めたりしたところがある。）（配点 13）

問1 1班は、オスマン帝国時代のイスタンブルに興味を持ち、17世紀の各宗教・宗派の宗教施設の分布を示した図1を基に、メモ1を作った。メモ1中の空欄 **ア** に入る文あ・いと、空欄 **イ** に入る文X・Yとの組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **10**

図1



メモ1

図1の時代のオスマン帝国は、非ムスリム臣民を庇護民（ズィンミー、ジンミー）として遇して、**ア**。イスタンブルにおいては、住民は、それぞれの宗教施設の近隣に居住していたと考えられるので、図1の宗教施設の分布から、**イ**ことが推測される。

アに入る文

- あ 人頭税の支払いと引き換えに、一定の自治を認めた
- い 人頭税を廃止し、ムスリムと平等に扱った

イに入る文

- X キリスト教徒とユダヤ教徒が、分散して居住していた
- Y キリスト教徒とユダヤ教徒が、それぞれ同じ教徒だけで一箇所に集中して居住していた

- ① あ — X
- ② あ — Y
- ③ い — X
- ④ い — Y

問2 2班は、北京に興味を持ち、清代の北京の地図である図2と、18世紀に北京を訪れた宣教師の記録である資料とを見つけ、メモ2を付けたパネルを作った。このパネルについて、パネル中の空欄 **ウ**・**エ** に当てはまると考えられる資料中の語句の組合せあ・いと、そのように考える理由として最も適当な文X～Zとの組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

11

パネル

<p>図2</p> <p>ウの区域</p> <p>紫禁城</p> <p>エの区域</p> <p>—— 主な城壁</p> <p>0 1km</p>	<p>資料</p> <p>北京は二つの区別された区域からなっていた。一つは韃靼人の区域、もう一つは漢人の区域であった。韃靼人の区域には、韃靼人たちと、韃靼人ではないが、韃靼人の軍隊を構成する八つの部隊に登録された者たちとが住んでいた。漢人の区域は、漢人だけが住んでいた。</p>
<p>メモ2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図2中の「紫禁城」は、皇帝の宮殿区画を指している。 ・ 資料中の「韃靼人」は、清を建てた民族を指していると思われる。 	

ウ・エに当てはまる語句の組合せ

あ ウ — 漢人 エ — 韃靼人

い ウ — 韃靼人 エ — 漢人

そのように考える理由

X この王朝は、漢人の服装や言語を採用する積極的な漢化政策を採ったので、彼らを皇帝の近くに置いたと考えられる。

Y この王朝は、皇帝と同じ民族を中心とした軍事組織を重用したので、彼らを皇帝の近くに置いたと考えられる。

Z この王朝は、奴隸軍人を軍隊の主力として重用したので、彼らを皇帝の近くに置いたと考えられる。

① あ — X

② あ — Y

③ あ — Z

④ い — X

⑤ い — Y

⑥ い — Z

問3 3班は、南アフリカ共和国の都市ケープタウンに興味を持ち、1991年のケープタウンにおける使用言語の分布を示した図3と、それぞれの言語話者の構成を示した表を見つけて、メモ3を作った。図3、表、及びメモ3から読み取れる事柄や、歴史的背景として考えられる事柄を述べた後の文あ～えについて、正しいものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 12

図3

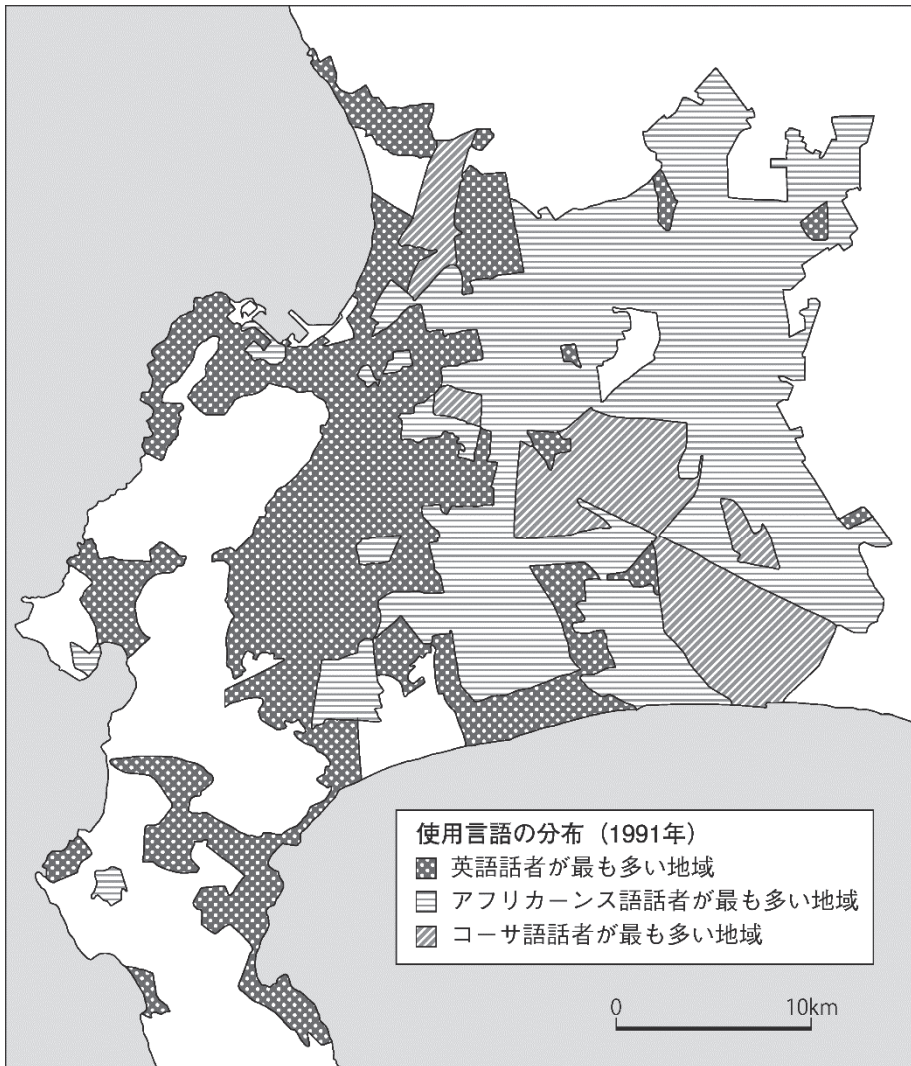


表 それぞれの言語話者の構成 (1991 年)

	英語話者	アフリカーンス語話者	コーサ語話者
白人	49.9%	19.7%	0.02%
黒人	0.5%	0.2%	99.80%
カラード	46.3%	79.6%	0.10%
インド人	3.3%	0.5%	0.10%
計 ^(注)	100%	100%	100%

(I.J. van der Merwe, The Urban Geolinguistics of Cape Town, *GeoJournal* 31-4, 1993 より作成)

(注) 四捨五入のため、合計は必ずしも 100%にならない。

メモ 3

- ・アフリカーンス語は、オランダ語に現地語が混合してできた言語である。
- ・コーサ語は、アフリカ南部の言語の一つである。
- ・カラードは、「有色」という意味で、初期の白人移民と奴隷や先住民などが混血して形成された集団である。
- ・アパルトヘイト期のケープタウンでは、法律によって、白人、黒人、カラード、インド人の 4 つの集団ごとに居住区が指定されていた。

あ 英語話者が最も多い地域は、18 世紀までに図 3 に見られる範囲に広がっていたと考えられる。

い 英語話者の中には、アパルトヘイトによる隔離の対象になっていた人々が含まれていると考えられる。

う アフリカーンス語話者のほとんどが白人であり、コーサ語話者のほとんどが黒人である。

え コーサ語話者が最も多い地域は、英語話者及びアフリカーンス語話者が最も多い地域よりも狭い。

① あ・う

② あ・え

③ い・う

④ い・え

問 4 各班の発表後、先生が、日露戦争前にロシアが作成した大連の都市計画を表した図 4 とその説明を示した。それを基にして、生徒の渡辺さんと菊池さんが、図 4 の大連の特徴について図 1～図 3 と比較し、分類を試みた。図 4 の大連をどのように分類するかについて述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 13

図 4



説 明

大連は、パリの都市計画を模範にして、大きな広場から放射状に大通りが延びるよう設計された。広場のある中心部には欧米人の居住区が、公園を挟んで中国人の居住区が、それぞれ設けられる予定だった。

渡辺さんによる分類

あ イスタンブル い 北京, ケープタウン

菊池さんによる分類

う イスタンブル, 北京 え ケープタウン

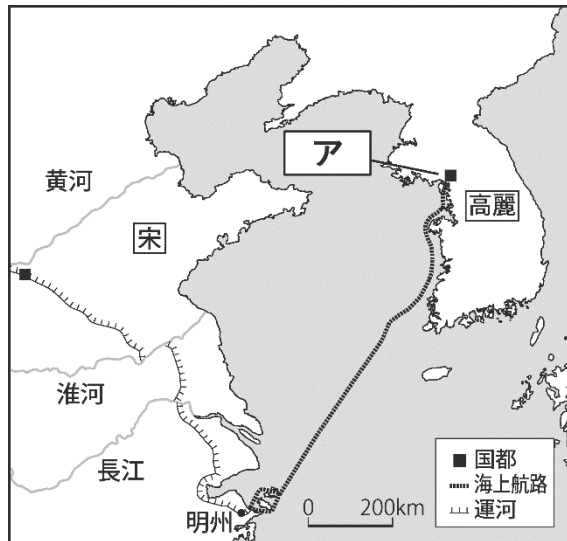
- ① 渡辺さんは、住民ごとに居住地域が区分されていたかどうかで分類しているので、大連はあに入る。
- ② 渡辺さんは、住民ごとに居住地域が区分されていたかどうかで分類しているので、大連はいに入る。
- ③ 菊池さんは、王朝の首都と列強の国外拠点とに分類しているので、大連はうに入る。
- ④ 菊池さんは、王朝の首都と列強の国外拠点とに分類しているので、大連はいずれにも該当しない。

第3問 世界史探究の授業で、地図を利用しながら、外交や貿易などによって発生する人の移動と、移動ルートを選択とについて、意見を出し合いながら考察した。それぞれの授業における考察に関連した次の文章A・Bを読み、後の問い（問1～5）に答えよ。（資料には、省略したり、改めたりしたところがある。）（配点 15）

A ある日の授業では、先生が、1123年に高麗に派遣された宋の使節員が記した見聞録に基づき、宋の使節がたどった海上航路を資料として示した（図1）。その上で、移動ルートの特徴と背景について、生徒が意見を出し合った。

あつし：宋の都から高麗の都へ向かうには、北回りで陸路をたどった方が近くて簡単そうに見えます。しかし宋の使節は、遠回りをして、中国南部の明州から船を出し、東シナ海を渡ったわけですね。

図1



すみれ：当初から両国の使者が陸路で行き来することはなかったようですが、それは①建国以来の宋の北方情勢が関連しているのではないのでしょうか。

スンヒ：宋の都と明州は大運河で結ばれていたので、大量の荷物を運ぶ外交使節にとっては内陸水運を利用の方が好都合だったかもしれません。

すみれ：以前の授業で、大運河は **イ** の時代に完成し、その工事の負担が **イ** の滅亡の一因になったと学びました。しかし大運河自体は、その後の時代にも利用されていたのですね。

みのる：当時、宋の使節が高麗に向かう航海で使用した船に関して、宋側の記録である資料1と資料2を見つけました。海上交通の安全性や安定性は、どのような人々が運航を担っていたかが重要であると思います。

資料1

従来、朝廷が高麗に使者を送る際には、出立日に先立ち、福建・両浙^(注)の長官に委託して、現地の商人の商船を募集して雇い入れてきた。

(注) 両浙：おおむね現在の浙江省と江蘇省南部に相当する地域。

資料2

皇帝より詔があり、「高麗王の逝去を弔問する使節の船を運行した船主・船頭であった商人に対し、褒美としてそれぞれ下級の官職を与える」とのことであった。

先生：皆さんよい着眼点ですね。様々な要因が重なり合って利用ルートが決まっていこうと考えられそうです。

問1 図1中の **ア** に入る都市の名あ〜うと、文章中の空欄 **イ** に入る王朝について述べた文X・Yとの組合せとして正しいものを、後の①〜⑥のうちから一つ選べ。 **14**

ア に入る都市の名

あ 漢 城 い 開 城 う 開 封

イ に入る王朝について述べた文

X 土地税，人頭税，労役などを一括して銀で納める税制を導入した。

Y 地方に置かれた推薦担当官が人材を推薦する制度を廃止し，試験による人材選抜方式を創設した。

- ① あ — X ② あ — Y ③ い — X
④ い — Y ⑤ う — X ⑥ う — Y

問 2 すみれさんが下線部㉔のように考えた根拠として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① 宋と高麗の間の地域は、スキタイの活動範囲に入っていた。
- ② 宋と高麗の間の地域には、フラグの率いる遠征軍が侵入していた。
- ③ 宋と高麗の間の地域では、契丹（キタイ）が勢力を広げていた。
- ④ 宋と高麗の間の地域には、西夏の支配が及んでいた。

問 3 資料 1・2 を踏まえ、宋が高麗に使節を送る際、船舶がどのように運航されていたかについて述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① 貿易商人の中には倭寇として知られる者もいたため、彼らの護衛を受けて使節が派遣されたと考えられる。
- ② 皇帝直属の軍隊が強化されたため、その軍船と軍人が使節の派遣に利用されたと考えられる。
- ③ 軍艦の漕ぎ手として活躍していた都市国家の下層市民が、使節の船にも動員されていたと考えられる。
- ④ 民間商人の海外渡航が広く許され、彼らの貿易活動が活性化していたので、航海に習熟した商船とその船乗りが使節の派遣に利用されたと考えられる。

B 別の日の授業では、生徒と先生が、ヨーロッパの人々がアジアを目指す試みについての資料を基に、15世紀末から16世紀中頃のイングランド商人によるアジア航路の開拓について話をしている。

先生：イングランドは15世紀の末から、既にあるルートを使わずにアジアを目指そうとしました。なぜそのような航路の開拓を試みたのでしょうか。

みのる：当時、ヨーロッパの諸勢力は、地中海東岸を経由する貿易を通して、アジアの物産を手に入れていました。その後、アジアとの直接貿易を目指し、喜望峰経由でのアジア航路を開拓したと、先日の授業で学びました。

あつし：こうしたアジア航路の開拓に後れを取ったイングランドにとっては、いずれの航路の利用も既存の諸勢力から阻まれていたため、新規の航路開拓を行う必要があったのではないのでしょうか。

先生：そうですね。このような時期に、⑥地理学者たちは、イングランド商人たちに様々な地理情報を提供していました。次の図2は、1538年にネーデルラントのメルカトルが作成した世界地図の一部を抜粋したもので、記録は、イタリアのヨヴィウスという人物によるものです。

図2



記録

北極海から右岸に沿って航行すると、(中略)船はカタイ^(注)に到達する。

(注)カタイ：現在の中国北部に相当すると考えられる地域。

すみれ：なるほど。このような情報があったのなら，一見突飛に思われるルートが考案されたことにもうなずけますね。

先生：宋の使節もイングランド商人も，当時の国際環境のなか，様々な事情の下で航路を考案し，選択していたことが分かります。

問 4 下線部⑥に関連して，新航路開拓の背景には，地理学的知識の発展が大きく寄与していたことが知られている。そのことに関して述べた文Ⅰ～Ⅲについて，古いものから年代順に正しく配列したものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。

17

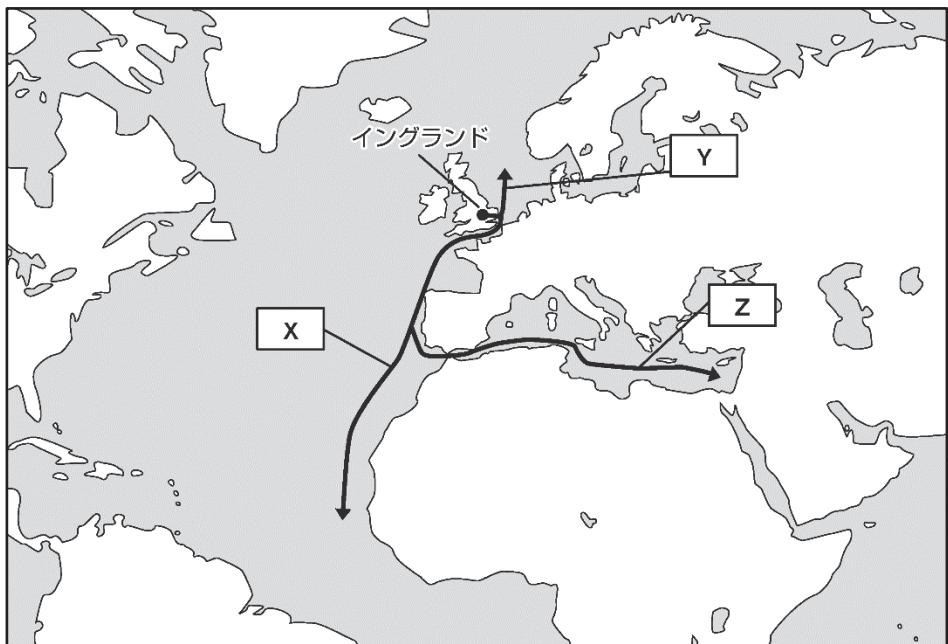
- I ある人物は，中国で初めて，アメリカ大陸や大西洋を含む世界地図を作成した。
- II ある人物は，本格的に極地探検が競われるなか，初めて北極点に到達した。
- III ある人物は，地球球体説に基づいて，大西洋を西に向かうことでアジアへ到達できると主張した。

- ① I — II — III
- ② I — III — II
- ③ II — I — III
- ④ II — III — I
- ⑤ III — I — II
- ⑥ III — II — I

問 5 前の会話文と図 2 及び記録を参考にしつつ、イングランド商人による既知のルート利用を阻んだ国あ・いと、次の図中に示した X～Z のうち、1550 年代のイングランド商人たちが試みた新ルートとして最も適当なものとの組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 18

阻んだ国

あ ポルトガル い セルジューク朝



- ① あ — X
- ② あ — Y
- ③ あ — Z
- ④ い — X
- ⑤ い — Y
- ⑥ い — Z

第 4 問 世界の諸地域における国家と宗教の関係に関する資料について述べた次の文章A～Cを読み、後の問い（問1～8）に答えよ。（資料には、省略したり、改めたりしたところがある。）（配点 25）

A 次の資料1は、ローマ帝国において、告発されたキリスト教徒への対応をめぐり属州総督と皇帝との間で交わされた書簡である。

資料1

（皇帝に宛てた属州総督の書簡）「私はキリスト教徒裁判には全く関わったことがありませんでした。したがって何が、どの程度罰せられるのか、あるいは審問されるのが常なのか、私は知りません。（中略）私は急いであなたに相談することにしました。なぜならば特に裁判を受ける人々が多数に及ぶため、私にはこれが相談に値することであるように思われたからです」

（皇帝の回答）「キリスト教徒として訴えられた者たちの件を審理するに当たり、君はなすべきことを正しく行った。なぜならば、これに関しては、いわば確定した形式を持つようなあるものを、一般に制定することはできないからである。彼らは搜索されるべきではない。（中略）署名なしに提出された告発状は、いかなる犯罪についても受理されるべきではない」

この書簡のやり取りは、ローマ帝国の最大版図を達成した **ア** の時代のものである。告発されたキリスト教徒への対応に苦慮した属州総督は、彼らの行状を調査した上で、皇帝に対応策を問い合わせた。この資料1に見られるような皇帝の姿勢もあってキリスト教徒は次第にその数を増し、4世紀末には、①当時ローマ帝国内で見られた他の宗教を抑えて、事実上、国教の地位を獲得した。その結果、②ローマ帝国による地中海支配の終焉後も、キリスト教はヨーロッパを中心しゅうえんに大きな影響を持ち続けることになった。

問1 文章中の空欄 **ア** に入る皇帝の名 **あ・い** と、資料1から読み取れる皇帝のキリスト教徒に対する姿勢 **X・Y** との組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **19**

皇帝の名

あ アウグストゥス

い トラヤヌス帝

資料1から読み取れる皇帝の姿勢

X 皇帝は、キリスト教徒に対する告発を抑制しようとしている。

Y 皇帝は、キリスト教徒を徹底的に弾圧するよう命じている。

- ① あ — X
- ② あ — Y
- ③ い — X
- ④ い — Y

問2 下線部①のいずれかについて述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **20**

- ① ギロアスター教・仏教・キリスト教の要素を融合した。
- ② ナーナクが創始した。
- ③ ボロブドゥール寺院を造営した。
- ④ 六信五行が義務とされた。

- 問 3 下線部⑤について議論する場合，異なる見方あ・いと，それぞれの根拠となり得る出来事として最も適当な文W～Zとの組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 21

異なる見方

- あ ローマ帝国による地中海地域の統一は，ゲルマン人の大移動で終焉を迎えた。
- い ローマ帝国による地中海地域の統一は，イスラームの勢力拡大で終焉を迎えた。

それぞれの根拠となり得る出来事

- W タキトゥスが、『ゲルマニア』を著した。
- X オドアケルが，西ローマ皇帝を廃位した。
- Y イスラーム勢力が，西ゴート王国を滅ぼした。
- Z イスラーム勢力が，ニハーヴァンドの戦いで勝利した。

- ① あ — W い — Y
- ② あ — W い — Z
- ③ あ — X い — Y
- ④ あ — X い — Z

B 次の資料2は、中国にある仏教石窟の写真である。

資料2



この仏教石窟は、5世紀の末、華北を支配した北魏の文成帝の時代に造られたものである。北魏では、5世紀中頃に廃仏が断行されたが、文成帝は廃仏を停止し、仏教を復興させた。その際、皇帝を崇拜の対象とするため、文成帝は、北魏の歴代皇帝になぞらえた巨大な石仏群を造らせた。これは政治的には、イ ことにつながった。

その頃、江南を支配していた南朝では、いくつかの王朝が興亡を繰り返すなかで、門閥貴族が主体となって文化が栄えた。◎南朝の文化は、その後も中国文化の基層となった。

問 4 文章中の空欄 **イ** に入る文として最も適当なものと、それに相当する世界史上の事例との組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 **22**

イ に入る文

- あ 立憲君主政を樹立する
- い 宗教を利用して君主権力を強化する

世界史上の事例

- X イラン革命を経て、ホメイニ（ホメイニー）が最高指導者となった。
- Y イングランドで、ウィリアム3世とメアリ2世が即位した。
- Z インカ帝国では、皇帝は太陽の化身とされた。

- ① あ — X ② あ — Y
- ③ あ — Z ④ い — X
- ⑤ い — Y ⑥ い — Z

問 5 下線部㉔について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **23**

- ① 自然現象を、神話的解釈ではなく、合理的な思考で理解しようとする思想が発展した。
- ② 旧来の倫理・道徳を批判する、白話を用いた文学作品が登場した。
- ③ 天文学や医学など諸学問が発達し、数学の分野ではゼロの概念が生み出された。
- ④ 対句を駆使する華麗な文体の文章が流行し、詩文集が^{へんさん}編纂された。

C 次の資料3は、フランス第三共和政期の国家と宗教の関係を描いた風刺画である。

フランスでは、18世紀末の革命で非キリスト教化の動きが見られたが、その後もカトリック教会は影響力を持ち続けた。ナポレオンが宗教協約を結び、ローマ教皇と和解したことは、その要因の一つである。それ以降も、政治体制の転換とともに、国家による宗教の扱いは変化した。そして改めて共和政が敷かれたこの時期に、④国家と宗教の新たな関係の構築が模索された。ドレフュス事件は、その重要な契機であった。この事件の過程で、教皇を至上の権力とみなす一部のカトリック勢力が、共和派の政治家たちから問題視されたのである。この風刺画は、そうした時代状況を映し出している。

資料3



風刺画の中央左には、^{おの}斧を振りかざす共和派の政治家エミール=コンブが描かれている。⑤『哲学書簡』の著者として知られる人物によって上空から光で照らされたコンブは、カトリック教会（左手前の冠をかぶった人物）とフランス（腰をかがめている女性）との^{まざる}錯綜した関係を表すロープを一刀両断しようとしている。

こうした展開を経て、フランスでは、1905年に政治と宗教の分離に関する法律が定められた。

問6 下線部①に関連して、次の資料4・5は、世界史上の国家と宗教の関係についての資料である。前の文章中の宗教協約の成立時期を含めて、これらの出来事が古いものから年代順に正しく配列されているものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 24

資料4

ローマ皇帝並びに神聖なる帝国の選帝侯、諸侯らは、帝国のいかなる身分の者に対しても、アウクスブルク信仰告白のゆえに、また、その教義、宗教、信仰のゆえに、迫害をしてはならない。多くの自由都市と帝国都市において、旧教とルター派が以前から行われているので、今後もそのことはこれらの都市において維持されるべきである。

資料5

イタリア政府は、現在既に設定されている、ヴァチカン地区における教皇庁の所有権及び排他的かつ絶対的な権限と裁判権を、同庁の付属物や施設とともに承認する。また、本条約の目的とそこに定められた条項に基づき、ヴァチカン市国が創出される。

- ① 資料4 — 資料5 — 宗教協約
- ② 資料4 — 宗教協約 — 資料5
- ③ 資料5 — 資料4 — 宗教協約
- ④ 資料5 — 宗教協約 — 資料4
- ⑤ 宗教協約 — 資料4 — 資料5
- ⑥ 宗教協約 — 資料5 — 資料4

問7 下線部㊦の人物が風刺画に描かれている理由について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① この人物が、キリスト教信仰を論理的に体系化しようとした、中世ヨーロッパの学問を代表する一人であるから。
- ② この人物が、禁欲的な修行によって神との一体感を求めようとした、中世に盛んになった宗教思想を代表する一人であるから。
- ③ この人物が、理性を重んじて古い偏見や権威を打破しようとした、18世紀に隆盛した思想を代表する一人であるから。
- ④ この人物が、人間心理の中の無意識に着目した、19世紀後半に登場した学問を代表する一人であるから。

問8 前の文章中の1905年に定められたフランスの法律と類似する原則は、他の地域や時代においても見られた。そのような事例について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① イングランドで、国王至上法が定められた。
- ② ムスタファ=ケマルが、カリフ制を廃止した。
- ③ インドで、ベンガル分割令が出された。
- ④ アルタン=ハンが、チベット仏教に帰依した。

第5問 世界史探究の授業で、「**ア**」という主題を設定し、資料を基に生徒が追究して、その内容をレポートにまとめた。次の文章**A**～**C**を読み、後の問い(問1～7)に答えよ。(資料には、省略したり、改めたりしたところがある。)(配点 22)

A 牧さんの班は、中世ヨーロッパで起こった、ある農民反乱に関する二つの年代記を基に、主題を踏まえて考察を行った。次の文章は、その考察をまとめたレポートである。

レポート

○ **一つ目の年代記**：(農民反乱の指導者の演説)「農民も貴族も存在せず、全ての人々が一つになるまでは、この国で世の中がうまくいくことはないだろう。領主と呼ばれる彼ら貴族は、いかなる点を根拠に、我々の同類ではなく偉大な支配者であるということになっているのか。アダムが耕し、イヴが紡いだ時、誰が領主であったか。彼らが恵まれた状態を維持できているのは、我々と我々の労働のおかげにほかならない。我々は隷農と呼ばれており、一瞬でも彼らへの奉仕を怠れば打ち叩かれる。国王の下へ行こう！彼に我々の隷属状態を示し、事態が変更されることを望んでいると伝えよう」

○ **二つ目の年代記**：「農民反乱の指導者は国王の面前に現れ、民衆は彼らが望むような証書を得るまでは解散しないと告げた。民衆の希望とは、いかなる領主も領主権を保持しないこと、唯一の領主権は国王のものだけであること、イングランドの教会の動産は聖職者の手に置かれず、教区民の間で分配されること、全国にただ一人の司教しか置かれず、高位聖職者たちの保有地は全て国庫に没収され民衆の間で分配されること、であった。農民反乱の指導者はさらに、この国には以後いかなる隷農身分もなく全て自由人であり、その身分は均一であることを求めた」

○ **まとめ**：これらの年代記に出てくる「隷農」は、当時 **イ**。この農民反乱は、**ウ** と考えられる。

問 1 文章中の空欄 **イ** に入る文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **27**

- ① 領主直営地で、賦役に従事していた
- ② プランテーションで、サトウキビの栽培に従事していた
- ③ 租・調・庸を課されていた
- ④ 高率の小作料を納めるシェアロッパーであった

問 2 レポートで扱っている農民反乱の名として適当なもの **あ・い** と、文章中の空欄 **ウ** に入る文として適当なもの **X・Y** との組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **28**

農民反乱の名

あ ワット=タイラーの乱 い プガチョフの乱

ウ に入る文

X 君主政の廃止を要求している
Y 身分制度の改変を要求している

- ① あ — X
- ② あ — Y
- ③ い — X
- ④ い — Y

- B 佐々木さんの班は、近代アジアの女性に関する資料を基に、主題を踏まえて考察を行った。次の文章は、その考察をまとめたレポートである。

レポート

カルティニ（1879～1904年）は、ジャワ島中部で貴族の家庭に生まれ育った女性である。現地のヨーロッパ人小学校で学んだ後に、書籍や雑誌を通じて思索を深めていった。彼女は、ジャワや宗主国で発行された **工** 語雑誌への記事執筆や文通などを通じて、女性の地位向上などジャワ社会の変革を目指して活動したが、その道のりは平坦なものではなかった。次に引用する手紙からは、彼女の思想の持つ複雑さと重層性を読み取ることができる。

雑誌社が何度も私の書簡を掲載させてくれと頼んできたのも、なぜかと言えば、宣伝のためですよ。生粋の東洋の娘，“本物のジャワ人少女”からの手紙、ヨーロッパ文明になじみつつある東洋人の考えがヨーロッパ語の一つで書かれてあるなんて、ああ、なんて彼らにとって魅力的ではありませんか。

この皮肉に満ちた一節は、彼女が、自身の言論活動が宗主国の人々からどのように認識されていたのかを自覚していることと、それに対する彼女の強い嫌悪感を示している。にもかかわらず、カルティニが **工** 語での言論活動を続けたのは、彼女が生きた時代に見られた植民地支配の変化によって、彼女の言論活動が可能になったことを認識しており、これを続けることが、女性の地位向上などを達成するのに最良だと考えたからであろう。

私たちはここから、様々な制約や困難に直面しながらも、よりよい方法を見つけ出して最大限に利用しようとする彼女のしたたかさを学ぶことができる。

問3 文章中の空欄 **エ** に入る言語を推測する根拠となる事柄について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **29**

- ① 多くの中国系労働者が、東南アジアに流入していた。
- ② インドネシアでは、イスラーム教徒が最大多数だった。
- ③ ヨーロッパの宮廷では、フランス語が広く用いられていた。
- ④ ジャワ島は、オランダが支配していた。

問4 レポートを参考にしつつ、カルティニの言論活動を可能とした植民地支配の変化あ・いと、カルティニが宗主国の人々の認識に嫌悪感を抱いた背景X・Yとの組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **30**

植民地支配の変化

- あ 宗主国が、植民地住民の福祉や教育を重視するようになった。
- い 宗主国が、植民地での重化学工業の発展を重視するようになった。

カルティニが嫌悪感を抱いた背景

- X 宗主国の人々が、支配地域における人々の文明化を責務と考えていたこと。
- Y 宗主国の人々が、農業の集団化や工業の国有化によって、社会主義の実現を目指したこと。

- ① あ－X
- ② あ－Y
- ③ い－X
- ④ い－Y

C サンチェスさんの班は、1960年代のアメリカ合衆国で盛り上がりを見せた反戦運動に着目し、表やグラフなどの資料を準備して、主題を踏まえて考察を行った。次の文章は、その考察をまとめたレポートである。

レポート

【探究における課題】

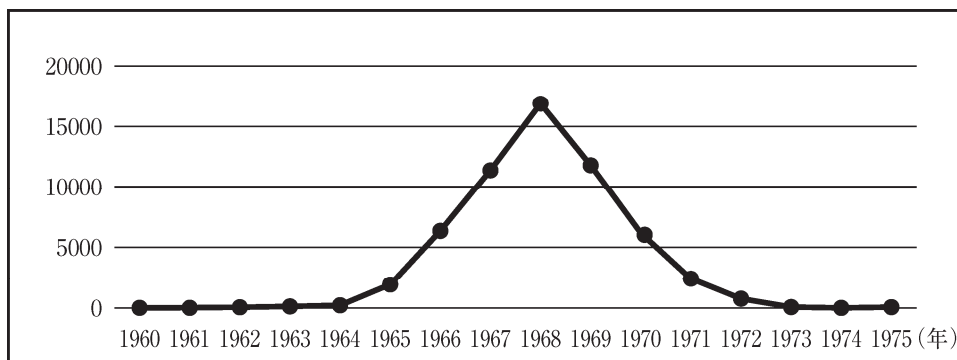
当時のアメリカ合衆国において、**オ**で行われた戦争に対する反対運動に参加した人々の意見は、政治にどのような影響を与えたのだろうか。

表 **オ** への米軍派遣に対する支持率の推移 (単位：%)

世論調査時期	1965年 8月	1966年 9月	1967年 10月	1968年 8月	1969年 9月	1970年 5月	1971年 5月
賛成	61	48	44	35	32	36	28
反対	24	35	46	53	58	56	61

(Gallup, November 17, 2000 の記事より作成)

グラフ **オ** での米軍の年間死傷者数 (単位：人)

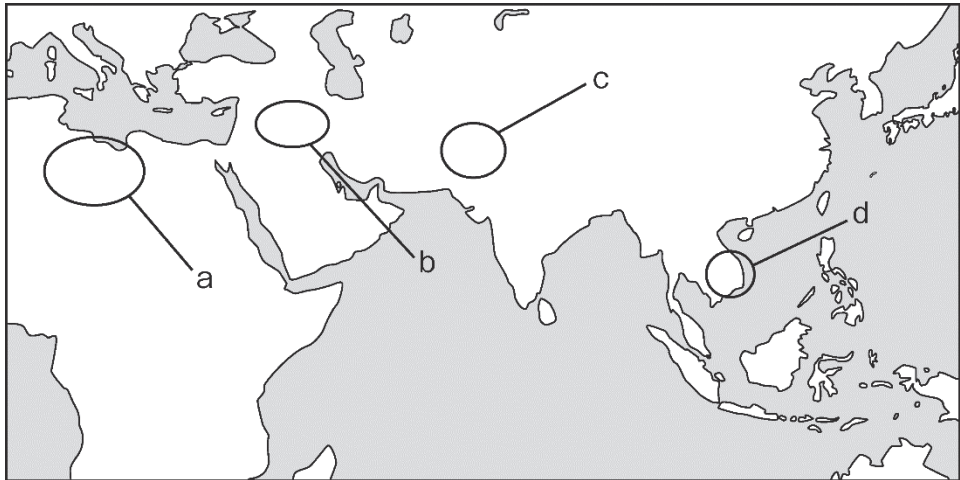


(Military Records, The U.S. National Archives and Records Administration より作成)

【まとめ】

- 戦争の激化や長期化により米軍の死傷者が増加したことと、この戦争への米軍派遣に対する支持率の推移とは、一定の関連があると考えられる。
- 平和を希求する世論や、この戦争に対する国際的な非難の高まりなどを背景に、その後、アメリカ合衆国はパリで和平協定を結び、この戦争から撤退することとなった。
- ① 同じ時期のアメリカ合衆国では、市民が世論の形成を通じて社会の変革を促しており、それも **オ** 反戦運動の盛り上がりに影響したと考えられる。

問5 次の図中に示した a～d のうち、文章中の空欄 **オ** の地域の位置として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **31**



- ① a
- ② b
- ③ c
- ④ d

問 6 レポートを基に判断できる内容あ・いと，下線部④の事例として最も適切なもの X・Y との組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

32

レポートを基に判断できる内容

- あ 米軍の年間死傷者数が 10000 人を超えてから，北爆が開始された。
- い 世論調査で反対が賛成を初めて上回った時期より後に，米軍の年間死傷者数がピークに達している。

下線部④の事例

- X 黒人差別に反対する公民権運動が起こった。
- Y 女性参政権を求める運動が起こった。

- ① あ — X
- ② あ — Y
- ③ い — X
- ④ い — Y

問7 三つのレポートの内容を参考に、第5問冒頭の空欄 **ア** に入る主題として適当なもの **あ・い** と、その主題をさらに追究するための世界史上の出来事として最も適当なもの **X～Z** との組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 **33**

ア に入る主題

- あ 世界史上において、反乱や動乱、運動などに関わった人々は、どのような社会を望んだのだろうか
- い 世界史上において、君主や統治者は、どのような意図で、様々な改革を行ったのだろうか

主題をさらに追究するための世界史上の出来事

- X** フランスとオーストリアが、従来の外交政策を転換した外交革命
- Y** 秦の始皇帝が行った、度量衡の統一
- Z** 「独立万歳」を叫ぶ民衆のデモが、朝鮮全土に広がった運動

- ① あ — X
- ② あ — Y
- ③ あ — Z
- ④ い — X
- ⑤ い — Y
- ⑥ い — Z